

—中学受験のお子さまを持つ親のために—  
わが子が伸びる親の『<sup>スキル</sup>技』研究会のご案内

主催：森上教育研究所

ご両親がちょっとした技（スキル）を修得することで、お子さまがその教科を好きになり、学習意欲がわいたり、思考のセンスを身につけたりできることがあります。ご両親がこうした技を身につけてお子さまと楽しみながら学ぶことで、合格に近づく知的な子育ての醍醐味を味わってみませんか。この講演会は、塾で行う講演会ではありません。むしろどんな塾に通っていても役立つ、ご家庭でできて、しかもお子さまが伸びる教育技術を広く公開する企画です。

平成30年度前期講座予定

**第5回** 4月25日（水）**国語** 田代敬貴（国語指導&執筆）

●テーマ 40台の偏差値を60にする—豊島岡・聖光・駒東の記号選択問題のスキルを含めて

【小3～小6対象】

●内容 今回は、国語の成績が上がらない子どもをもつ親向けの講座です。40台の偏差値を取り続ける生徒の「できない原因」は4つあります。17年間、相談を受けるたびに生徒と親に与え続けてきた40台脱出のためのアドバイスを、具体例をまじえてお話しします。 申込×切 4/23（月）

**第6回** 5月17日（木）**算数** 望月俊昭（算数指導&執筆）

●テーマ ヒントの出し方・実践編【全学年対象】

●内容 お子さまに算数を教える場合、最も大事にしなければならないことは、お子さまが自分で考える、ということです。保護者が最初から最後まで説明して「わかった？」→「うん、わかった」という方式では、同じことを再現するのも簡単ではなく、応用はさらに難しくなります。そこで大事なのは、ヒントの出し方です。自分で考えるきっかけを与えるヒントの出し方の具体例を、いろいろな分野の問題を取り上げながら説明します。 申込×切 5/15（火）

**第7回** 5月24日（木）**コーチ** 金廣志（悠遊塾主宰）

●テーマ ご家庭でできる偏差値を5上げる方法【小4～小6対象】

●内容 親なら誰でも実行でき、数多くの成功例にもとづく実践的なコーチングが明らかに。

申込×切 5/22（火）

**第8回** 6月6日（水）**算数** 竹内洋人（「算数指導&執筆&みんなの算数オンライン主宰」）

●テーマ 数の性質（整数問題）を得点源にする学び方と攻略法【小4～小6対象】

●内容 「数の性質」は合否を分ける問題として頻出です。「解ける人」がどのような視点で、どのようなテクニックを使って問題に取り組んでいるのかを分かりやすくご説明致します。4年生の内容から最難関レベルまでを扱います。 申込×切 6/4（月）

**第9回** 6月13日（水）**社会** 早川明夫（文教大、学研『応用自在』執筆、『ジュニアエア』の監修等）

●テーマ 『これだけ！』シリーズ（地理・歴史分野）：これだけはおさえておこう【小4～小6対象】

●内容 入試問題の大半は基礎・基本の問題。入試の合否は基礎・基本問題の出来不出来で決まります。今年の入試問題の傾向をふまえて、まとめ方も含めて入試においてこれだけはおさえておいたほうがよいという地理・歴史の内容を、入試問題をもとに具体的に説明します。2021年1月スタートの「大学入試共通テスト」にもふれてお話しします。 申込×切 6/11（月）

## 第10回 6月21日(木) 理科 小川眞士(小川理科研究所主宰&執筆)

●テーマ 『これだけ!』シリーズ: 理科学習で問われるものはく生物・物理編>【小3~小6対象】

●内容 はじめに本年実施された入試問題を分析します。最近の入試問題は理科が暗記教科ではないことをはっきりと示しています。問われているのは理科的思考力です。思考力の養成はどのように取り組むべきなのか、小学校での学習や入試で問われている課題を具体的に提起し理科の学習方法をお伝えします。より深く、よりステップを高める理科の学習をする上でプラスになる視点やポイントをお伝えします。 申込×切 6/19(火)

## 第11回 6月22日(金) 国語 早川 なお子(国語の寺子屋主宰)

●テーマ 低学年で、きちんと「学ぶ」姿勢を身につける【幼児~小3対象】

●内容 幼子のやわらかい心を育むこの時期は、二度と戻らない大切な時期。遊びの中で多くの体験をさせながら、当たり前な学習習慣をきっちり身につけさせることは案外難しいものです。少しのヒントになるようなお話をさせていただこうと思います。 申込×切 6/20(水)

## 第12回 6月28日(木) コーチ 佐々木信昭(佐々木ゼミナール主宰)

●テーマ 志望校対策の神髄=分野別過去問徹底演習【小6対象】

●内容 塾対象学校説明会に例年25校余り出席しています。圧倒的に多くの学校から「とにかく過去問をやらせてください。」と言われます。要するに出題傾向を変えません、同じような問題を出し続けます。過去問ができれば合格です、との学校からのメッセージです。偏差値10の壁を何度も突き崩した佐々木ゼミナールで実施している分野別過去問演習のノウハウをすべて伝授いたします。 申込×切 6/26(火)

## 第13回 7月5日(木) コーチ 金廣志(悠遊塾主宰)

●テーマ 『これだけ!』シリーズ: 夏休みに「これだけ!」【小4~小6対象】

●内容 入試問題には、受験生の大半が解ける問題、受験生の半数が解ける問題、受験生の大半が解けない問題、があります。入試では、受験生の半数が解ける問題を攻略できるか否かが受験の合否を決定的に分けます。受験者の入試問題正答率データを基に、夏休みに何をどこまで学習すればよいかコーチいたします。 申込×切 7/3(火)

## 第14回 7月11日(水) 社会 早川明夫(文教大、学研『応用自在』執筆、『ジュニアエラ』の監修等)

●テーマ 『これだけ!』シリーズ(政治・経済・時事問題分野): これだけはおさえておこう

【小4~小6対象】

●内容 選挙の年齢は18歳以上に引き下げられ、主権者教育が強調されるようになりました。その意味で、政治・経済・時事問題の重要性は高まっています。それに8割以上の学校で時事問題が出題されています。今年の入試問題の傾向を分析したうえで、政治・経済の基礎・基本と時事問題の対応について具体的に説明します。2021年1月スタートの「大学入試共通テスト」にもふれてお話しします。 申込×切 7/9(月)

## 第15回 7月19日(木) 理科 小川眞士(小川理科研究所主宰&執筆)

●テーマ 『これだけ!』シリーズ: 理科学習で問われるものはく地学・化学編>【小3~小6対象】

●内容 理科の学習や入試で問われているものは何か?暗記することは理科の学習ではありません。入試は記憶の量を問うものではありません。小学校の教科書や入試問題を分析すると理科的思考力の養成という課題が浮かび上がります。教科書や入試で問われるものを確認することで理科学習の道が明確となります。より深く、よりステップを高める理科の学習をする上でプラスになる視点やポイントをお伝えします。夏休みの学習に関してもふれます。 申込×切 7/17(火)

◇時間： 特別講座以外は 10：00～12：00 ※特別講座は上記確認してください。

◇会場： 特別講座と第 2 回はアルカディア市ヶ谷私学会館（JR・地下鉄市ヶ谷駅下車徒歩 5 分）  
それ以外は森上教育研究所セミナールーム（JR・地下鉄市ヶ谷駅下車徒歩 7 分）

◇料金： 3,000 円（税込）※決済完了後の返金はできません。

◇申込方法： 1 月 9 日（火）より申込受付開始スキル研究会 WEB サイト（<http://oya-skill.com/>）よりお申し込みください。メール・FAX の場合は、①保護者氏名 ②4 月からのお子さまの学年 ③郵便番号 ④住所  
⑤電話・FAX 番号／メールアドレス ⑥参加希望回 ⑦WEB 会員に登録済みか否か を明記して下さい。  
電話での申込はご遠慮下さい。なお、本研究会は塾の関係者の方のご参加をお断りしております。

**森上教育研究所 メール：morigami@pp.iij4u.or.jp /FAX：03-3264-1275**

データ提供：森上教育研究所（<http://www.morigami.co.jp/>）  
掲載：株式会社インターエデュ・ドットコム（<http://www.inter-edu.com/>）